

豊かな自然と歴史のこころがつくる活力のあるまち

とえだ

広報

Soeda
Public
Relations

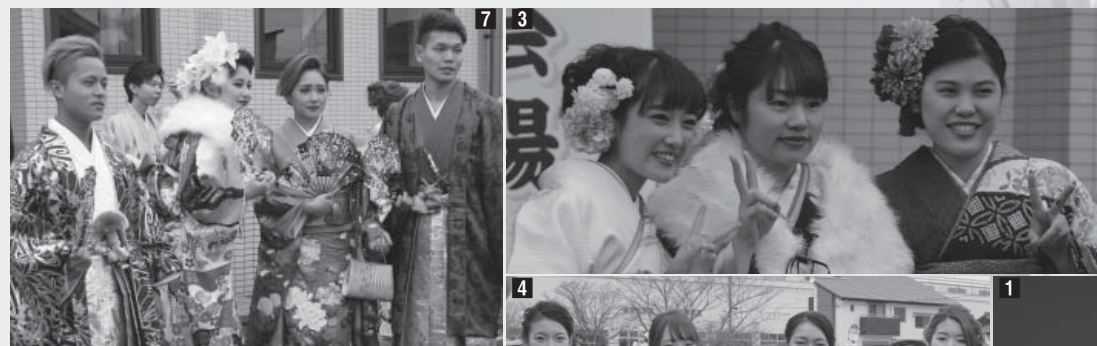


20歳になりました

FEB.2018

2

No.676



1 新成人代表で謝辞を述べた藤瀬さん 2 温かい祝福を受け笑顔をみせる新成人 3～7 会場の外で、久しぶりに再会した友人たちと記念撮影 8 中学時代の恩師金高先生 9 スライドショーの様子



つてきます。しっかりと自分の道を歩いてください」と語りかけました。また、来賓など多くの人から温かいメッセージに、新成人たちは静かに耳を傾け、一言一言を真剣に受け止めているようでした。

中学時代の懐かしい写真を集めたスライドショーでは、当時を思い出して、会場は笑顔に包まれました。式典の最後は、新成人代表の藤瀬輝さん(旧三崎)が謝辞を述べ「今日の日の感動を生涯忘れることなく心に刻み、それぞれの大きな夢に向かって前進していきたいと思っています」と力強く宣誓。

式典終了後は、恩師や友人たちと写真を撮り合ったり、話をしたりして旧交を温めました。



●平成29年度成人式フォトレポート

新成人99人が20歳の誓い

1月7日、オークホールで成人式が行われました。今年の該当者99人のうち70人が式典に出席。華やかな衣装に身を包んだ新成人たちが、大人への一歩を踏み出しました。

久々の旧友や恩師との再会に、笑顔と歓声があふれた成人式会場。スーツや色とりどりの振り袖に身を包み、99人が晴れの日を迎えました。

式典では、はじめに寺西明男町長が「子どもから大人になった自覚を持ってほしい。成人の日に込められた先人の思いを胸に、今日この日から、成人として心身ともに成長した凛々しい姿を見せてください」と期待を込めて激励。中学時代の恩師の、金高美幸先生は「いつも心のシャッターを全開にしていれば、良い風と良い言葉が入



●平成30年度から医療費控除が変わります

■セルフメディケーション制度(医療費控除の特例)

従来の医療費控除の特例として、新たに「セルフメディケーション税制」が施行されます。下記の「適用要件」にあてはまる人で、平成29年1月1日から12月31日までに、スイッチ OTC 医薬品を12,000円を超えて購入した場合、その購入費用のうち、12,000円を超える額(上限88,000円)を所得控除できる制度です。※ただし、本特例の適用を受ける場合には、従来の医療費控除の適用を受けることができません。

▶▶▶スイッチ OTC 医薬品とは

医療用医薬品（主に医師が処方する医薬品）から転用された要指導医薬品および一般用医薬品（薬局などで販売されている医師の処方を受けずに購入できる医薬品）です。対象製品には右の図、レシートにはその説明が記載されています。

▶適用要件

次の検診や予防接種（医師の関与があるものに限る）を受けていることが必要です。

- ①特定健康診査（いわゆるメタボ健診）
- ②予防接種（定期接種またはインフルエンザワクチンの予防接種）
- ③定期健康診断（事業主健診）
- ④健康診査（人間ドックなど医療保険者が行うもの）
- ⑤がん検診

※後期高齢者の人で、特定健康検査を元に制度を利用される人は、後期高齢者医療広域連合へ受診証明書を郵送請求していただく必要があります(☎ 役場住民課保険年金係(☎82-5966))

セルフメディケーション
税 控除 対象



▶申告に必要な書類

- ①健康維持や病気予防のための健診の結果表や領収書など取り組みの証明書類（氏名、健診受診年、健診が行われた自治体や医療機関名等の記載があるもの）
- ②セルフメディケーション税制の明細書（領収書は5年間保管する必要があります）

■各種税の申告と納付の期限

- ▶所得税・贈与税＝3月15日(木)まで
- ▶個人事業者の消費税と地方消費税＝4月2日(金)まで

■振替納税を利用している人の振替日

- ▶所得税＝4月20日(金)
 - ▶個人事業者の消費税・地方消費税＝4月25日(金)
- ※新たに振替納税を利用する場合は「預貯金口座振替依頼書」の提出が必要です。

■簡単便利な振替納税

確定申告後、納付書をもっていただけたけど払い忘れ、納付期限を過ぎてしまうと利子税(延滞金)が発生することもあります。口座振替にしておけば、引き落としの日に、お金を通帳に入れておくだけです。簡単・確実に払い忘れることもありません。口座振替をご利用になると、納期限にゆとりができます。



【 所得税に関する問い合わせ／田川税務署個人課税部門 ☎ 44-0430 】

平成29年分
確定申告
が始まります

今年も税の申告が始まります。障害年金や遺族年金を受給している人、収入がなく扶養になっている人も申告が必要な場合がありますので、期間中に役場で申告を行ってください。

忘れずに、
早めの申告を



役場での受付期間 >>> 2月16日(金)～3月15日(木)

申告会場▶ 役場1階特1会議室 9時～16時(土・日は除く)

■ 2月25日(日)9時～16時は申告を受け付けます

田川税務署
での受付期間 >>> 2月16日(金)～3月15日(木)

申告会場▶ たがわ情報センター(田川市) 9時～16時(土・日は除く)

■町県民税の申告をしなければならない人

- ▶平成30年1月1日現在、添田町に居住している人
- ▶平成29年中に営業、農業、不動産などの所得がある人
- ▶給与所得者でも日給などで働き、役場に事業主から給与支払報告書が提出されていない人

■申告に持ってくるもの

- ▶印鑑 ▶給与や年金などの源泉徴収票や収入のわかるもの ▶営業・農業所得等の収支明細書 ▶生命保険料・個人年金保険料・介護医療保険料・国民年金保険料・地震保険料(旧長期損害保険含む)などの支払証明書 ▶医療費控除のある人は医療費の領収書(医療費控除の明細書)や保険金などで補てんされる金額の明細書 ▶障害者控除のある人は身体障害者手帳など ▶マイナンバーカード、通知カードをお持ちの方はご持参ください

■公的年金受給者や国保加入者は特にご注意を

▷所得税では通常、給与所得以外の所得が20万円以下の人や公的年金合計額が400万円以下で、それ以外の所得が20万円以下である場合は、確定申告をする必要

がありませんが、町県民税では必ず申告が必要です。▷国民健康保険に加入している世帯の16歳以上の人は、所得がない場合でも必ず申告しなければなりません。申告をしない場合は、所得証明書の交付や国民健康保険税の軽減措置が受けられませんので注意してください。

■申告は便利な e-Tax をご利用ください

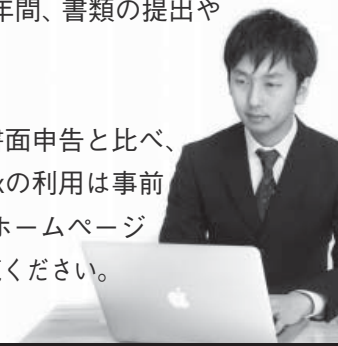
e-Tax(国税電子申告・納税システム)は、自宅やオフィスなどからインターネットなどを利用して、申告や申請、届出などができる便利なシステムです。

●添付書類の提出を省略

医療費の領収書や源泉徴収票などはその記載内容を入力して送信することで、提出や提示を省略することができます。(確定申告期限から5年間、書類の提出や提示を求められることがあります)

●還付金がスピーディー

e-Tax で申告された還付申告は書面申告と比べ、早期に処理をしています。※e-Taxの利用は事前登録が必要です。詳しくはe-Taxのホームページ(<http://www.e-tax.nta.go.jp>)をご覧ください。



【 町県民税に関する問い合わせ／役場住民課税務・滞納対策係 ☎ 82-1234 】

●高齢者等生活支援サービスのお知らせ

住み慣れた地域で安心の生活を

町では、高齢者や身体に障がいのある皆さんが、住み慣れた地域でいつまでも健康で安心した生活を送れるように、さまざまな支援サービスを行っています。ぜひ、ご利用ください。

テレビ電話事業

●テレビ電話で安否確認

テレビ電話を自宅に設置し、インターネット回線を使って定期的に見守りコールを行います。

【対象者】

- ・65歳以上の高齢者のみの世帯
- ・重度身体障がい者のみの世帯（身体障害者手帳1、2級）
- ・家族が同居しているが、仕事などで不在がちで65歳以上の人が長時間単身となる世帯
- ・その他特に必要と認められた人

【利用料】

機器の貸し出しや操作支援、安否確認などは

無料です。ただし、インターネットの契約が必要となります。



買い物支援事業

●交通の不便な地域に

交通が不便な地域を中心に、自力で買い物に行けない人や買い物に困っている人を支援します。自宅から商店までの送迎サービスと注文した商品を自宅に届ける宅配サービスの2種類があります。

【対象者】

- ・75歳以上の高齢者のみの世帯
- ・重度身体障がい者のみの世帯（身体障害者手帳1、2級）
- ・その他特に必要と認められた世帯

【利用料】

無料



配食サービス

●配達時に安否確認を行います

高齢者が自宅で自立した生活を送ることができるようバランスのとれた夕食を週5日(土・日のぞく)、配達。また、配達時には安否確認を行います。

【対象者】

- ・65歳以上の高齢者のみの世帯
- ・身体障がい者のみの世帯（身体障害者手帳を持っている人）
- ・その他特に必要と認められた世帯

【利用料】

1食 400円、おかずのみ 250円



介護用品給付サービス

●紙おむつを支給します

寝たきりや認知症などで紙おむつが必要な自宅で生活する人を介護する家族の経済的負担を減らすため、紙おむつを支給します。

【対象者】

- ・在宅の65歳以上の高齢者で介護保険法の規定による要支援または要介護認定を受けた人
- ・在宅の65歳未満の人で若年性認知症に該当する人
- ・その他特に必要と認められた人

【支給限度額】

- ・対象者が住民税非課税で世帯の中に住民税課税者がいる場合 月3,000円分/人
- ・世帯全員が住民税非課税の場合 月6,000円分/人



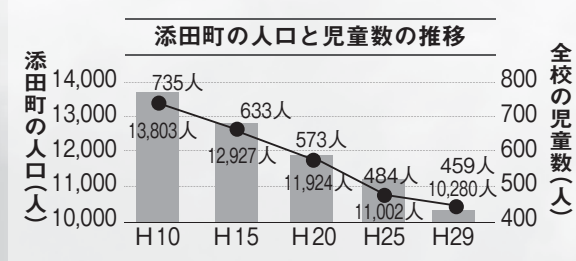
添田町の子どもたちのため、充実した教育環境を目指した学校統合基本計画(案)を提案

問 教育委員会学校教育課(☎82-5963)



添

田町では、全国的に進行する人口減少や少子高齢化に歯止めをかけるため、様々な施策を行っています。しかしながら、人口の自然減(出生より死亡が多い)や社会減(転入より転出が多い)が、全校の児童数(人)を反転するまで、果は出で、成るまの成長を待てないまま、また、町内の児童生徒の減少傾向も続いている。



各委員会検討

このような状況の中、平成18年6月の「添田小中学校・保育園再編検討委員会」

集団の学習や生活が困難

本来、学校教育における義務教育段階では、児童生徒の能力を伸ばしつつ、社会的自立の基礎、国家・社会の形成者としての基本的資質を養うことを目的としています。単に教科等の知識や技能を習得させるだけ



↑ 昨年11月～12月に行われた住民説明会

※複式学級・・・2つの学年が1つの学級を構成する

住民の皆さんと共に新しい学校づくり

これからの現状を踏まえ、添田町として、次の統合基本計画(案)を提案しました。▼小学校5校を1校に統合し、新たな小学校を新設し、中学校も同一敷地内に建設することで、小中学校が連携した教育環境を整備する。

●学校統合基本計画(案)の方針

子どもたちにとって、充実した教育環境にすることを第一に考え、次のとおり方針を策定しました。

- ▶小学校 5校を1校に統合し、新しい小学校を建設
- ▶中学校 新小学校と同一敷地内に建設
- ▶場所 そえだサン・スポーツランド
- ▶開校時期(予定) 平成34年4月1日を目指す

▼建設場所はそえだサン・スポーツランドにする。開校は平成34年4月1日を目指す。(予定)

この統合基本計画(案)について、昨年の11月下旬から12月中旬にかけて、各小学校区で住民説明会を開催しました。それぞれの説明会では、地域や保護者の皆さんから様々な意見や要望を受けました。この内容については、今後、整理して皆さんにお知らせします。町は「夢や希望を持てるそえだの子ども」を育てるための教育環境の整備を行います。これまで、学校が地域と共に築いてきた歴史と想いを考慮し、住民の皆さんと協議を重ねながら、進めていきたいと思っています。



身近なまちの話題について情報をお寄せください。
広報紙に掲載された写真は差し上げますので、お気軽に問い合わせください。



児童が芸術文化に触れられる授業

ふくおか共助社会づくり表彰

NPO法人アートもん(崎山香王里代表理事)と学校教育課がふくおか共生社会づくり表彰を受賞しました。アートもんは、町内全小学校にダンスや演劇などプロの芸術家を派遣し、児童が芸術文化に直接触れられる機会を創出する「プロに学ぼう! 学校 de 芸術体験」での学校教育課との協働の取り組みが表彰されました。



↑「星空フェスタ」なども行うアートもんの崎山さん

地域スポーツの振興に大きく貢献

スポーツ推進委員感謝状表彰

添田町スポーツ推進委員の高山和也さん(上中元寺)が県知事の感謝状表彰を受けました。高山さんは長年社会体育の振興に尽力され、幅広い世代の皆さんが気軽にスポーツに親しむ機会を提供する、総合型地域スポーツクラブでのバドミントンの指導など、地域スポーツの振興に貢献したことが認められての授与となりました。



↑「スポーツで町民の健康寿命を延ばしたい」と高山さん

家族へ、10年間の感謝と将来の誓い

各小学校で2分の1成人式

町内の各小学校で小学校4年生による2分の1成人式が行われました。1月20日、落合小学校では、児童5人が「いつも家族のためにありがとう。ママみたいな看護師になりたい」などと感謝と将来の夢が書かれた手紙をお母さんに手渡すと、受け取った母親は「生まれてきてくれて、ありがとう」と涙を流していました。



↑家族への感謝と将来の夢を書いた手紙を渡す児童

主人公の双子の子ども役でNHK出演

NHK福岡発地域ドラマ「You May Dream」

津野小学校1年生の崎山瑠那ちゃんと璃那ちゃんの双子の姉妹が、NHK福岡発地域ドラマ「You May Dream」に出演します。このドラマは、久留米市出身の鮎川誠さんと北九州市出身のシーナさんらによるロックバンド「シーナ&ロケッツ」の物語。3月2日(金)19時30分、NHK総合テレビで放送予定です。ぜひご覧ください。



↑ドラマの衣装姿の崎山瑠那ちゃん④璃那ちゃん⑤

健康や豊作を祈願する新年の風物詩

野田地区で鬼火焚き

1月14日、野田地区で1年間の無病息災や五穀豊穡を祈願する鬼火焚きが行われました。彦山川沿いに作られた約10メートルの竹のやぐらの中に、地区の皆さんが持ち寄ったしめ飾りや門松などを入れ、寺西町長と子どもたちが点火。皆さんは、家族の健康や今年の豊作を願いながら、燃え上がる炎を見守っていました。



↑竹のやぐらに勢よく火をつける子どもたち

気合の突きと掛け声で心身を鍛える

田川修武会が寒稽古

空手道場・田川修武会が1月6日、歓遊舎ひこさん前の彦山川で、新年恒例の寒稽古を行い、子どもから大人まで約30人が参加しました。道場から約3キロのランニングの後、男子は上半身裸、女子はTシャツ姿で、冷たい水の流れる川に入り、号令にあわせた気合の突きと「オス!」の掛け声で、心と身体を鍛えていました。



↑お腹の底から声を出して寒さを吹き飛ばしました

↓2年生57人分の「二十歳の自分」へのメッセージを寺西町長に預ける八野葵さん



20歳の自分へ届けたいメッセージ

添田中学校立志式

自分の夢や将来の希望に向かい努力を決意し、表明する立志式が1月12日、オークホールで行われました。2年生57人が「二十歳のキミへ」をテーマに自分あてに手紙を書き、代表して6人の生徒が発表。保育士が夢の植田七海さんは「そのために何を大切にすべきか考えたい」と語りかけました。この手紙は、寺西町長に託され、6年後の成人式で本人に手渡されます。また、余命半年を宣告されても前向きに生き、中学2年生で亡くなった猿渡瞳さんの母、直美さんによる講演が行われました。



↑瞳さんからのメッセージを届ける猿渡さん

火災・災害ゼロへ意気込み新たに

添田町消防団出初式

新年を迎え、1年間の防災への決意を誓う添田町消防団(田中久美男団長)による出初式が、1月4日、そえだドームで行われました。式では、凍てつくような寒さの中、消防団員や少年防火クラブ、婦人防火クラブの皆さんも参加して、息の合った分列行進を披露したり、長年消防活動に奉仕した団員・家族への表彰や退団・入団などの辞令交付などが行われたりしました。また、今年は添田町初の、4人の女性消防団員が本部分団に入団し、火災・災害ゼロへの決意を示していました。



↑火の取り扱いには十分注意をしましょう

↓消防団員らが号令に合わせ、機敏な動作で服装点検や分列行進を披露した出初式



町の魅力発信に感謝の意を込めて

「頑張るキミに花束を!」に感謝状贈呈

昨年の12月20日、FBS福岡放送のテレビ番組「頑張るキミに花束を!」に感謝状を贈呈しました。番組では、津野の奥山地区で姉妹の婿取りに頑張る農業一家を応援する「金子さん家」を放送。地域の四季折々の自然や人情、神幸祭や津野神楽といった地域に伝わる伝統行事などが放送され、番組を通して、町の魅力を多くの皆さんに発信してもらっています。この日は、番組の司会を務めるタレントのパラシュート部隊・斉藤優さんとパンチ佐藤さん、伊藤舞アナウンサーに寺西町長が感謝状を手渡ししました。この模様は、インターネットで公開されYouTubeなどで見ることができます。【<https://youtu.be/ky05UGnS5-0>】



ユーチューブ 頑張るキミに花束を スタジオオフトーク

検索



平名 隼治ちゃん
2月14日生 ①・上津野

隼ちゃん。初めての誕生日おめでとう！いつまでも、その笑顔忘れられないね。

◎3歳までのお子さん募集中

①お子さんの写真 ②お子さんの氏名 ③名前の読み方 ④誕生日 ⑤年齢 ⑥行政区 ⑦メッセージ(50文字以内) ⑧保護者の連絡先を送信してください。

送信先 koudojyouhou@town.soeda.fukuoka.jp

3月生まれは2月16日☎までにメールで投稿または写真を持参してください。☎ 役場総務課広報・秘書係(☎82-1231)

豪雨災害に負けない踊りを披露

上落合長生会

1月22日、しゃくなげ荘で行われた上落合長生会(佐々木盛弘会長)の新年会で女性会員5人が踊りを披露しました。昨年7月の豪雨災害で被害を受けた



↑仮装をして楽しい踊りを披露



木村 空雅ちゃん
2月12日生 ②・豊川

2歳のお誕生日おめでとう♡ダンスが大好きで踊る姿が可愛くてたまりません♡これからも元気にうがでいてね!!パパ・ママより

添田フリーズが快進撃!!
4年生以下の大会で見事、準優勝

木戸伸二さんからの投稿です



↑全員野球で見事、低学年大会準優勝に輝いた添田フリーズ

少年野球チームの添田フリーズが、昨年の12月3日、10日、16日、17日の4日間、福岡市の雁ノ巣少年専用球場を主会場に行われた第9回スポーツデポ・ドカベン香川杯少年野球大会の小学4年生以下による低学年大会で見事、準優勝に輝きました。漫画家の水島新司さんが名誉会長を務めるこの大会には、福岡と佐賀、熊本の各県から71チームが参加し、熱戦を繰り広げました。14のパートに分けられた予選ブロックの2試合を勝ち上がった添田フリーズ。決勝トーナメント1、2回戦と準決勝も保護者の声援を受けながら勝利し、決勝進出を果たしました。決勝では惜しくも敗れてしまいましたが、最後まであきらめず、チーム一丸となった全員野球で準優勝をつみとりました。添田フリーズは、毎週火曜日・木曜日の17時からそえだサン・スポーツランドで練習しています。興味のある小学生は一度、見学に来てみませんか。

造り酒屋と酒蔵も焼失
江戸時代の英彦山の火事

今回の歴まちコラムは、江戸時代の英彦山での火災の記録を紹介します。空気が乾燥し、火災が起こりやすい季節になりました。皆さんも火の元には十分注意してください。



写真・添田町消防団
【参考資料】
「彦山編年史料 近世編」廣渡正利 編校訂 平成15年
「増補英彦山」田川郷土研究会 昭和53年
東京消防庁HP 消防雑学辞典
総務省消防庁HP
平成28年(1月～12月)における火災の状況(概数)

火

の用心 ことを形に「習慣に」。これは平成29年度の全国統一防火標語です。「火の用心」という言葉を歴史的に見ますと、最初に使われたのは天正3(1575)年だと言われ、これは本多重次が妻へ送った手紙で用いられています。また、広く一般的に使われ始めた時期は、江戸幕府が慶安元(1648)年に出したお触れからだと考えられています。

英

彦山での火事は江戸時代を通じて、29件の記録が確認できており、焼失軒数や焼失原因などが具体的に書かれています。

放

火については、平成28年の火災状況の出火原因の第1位にもなっており、現在までに続く問題と言えるでしょう。消防庁の発表では、1月から3月までが最も火事が多い時期となっています。皆さんも火の取り扱いには十分気を付けてください。文/西山絃二学芸員(まちづくり課文化財係)

文芸歳時記



【俳句 添田福寿句会】

霜冷へや落葉をさそふ風の道
換気扇甥の手借りし年用意
凜と咲く梅に忍土の力あり
安藤はじめ
熊谷トシエ
鶴原 幸江

【俳句 天籟通信添田句会 大池青湖選】

染まらない生き方もあり冬木立
冬の浪針孔を通して膨らめり
見馴れたるふるさとの山冬景色
LよりもSのみかんの甘さかな
通夜帰りあなたの好きな寒昂
秘境にも人のくらしや大根干す
祖父の地の棚田守る家冬かこい
師走来る葱一本の明るさに
大池みどり

【短歌 春扇短歌会 筑紫支社】

百歳とふ尊き命を有難く
過ぎませうと思ふ今日なり
節分に豆撒かずなり恵方巻き
食す習ひに五年を過す
車窓移る景色に思ふ吾が一生
脳裏過ぎゆく日もやがて来む
音もなく夜半に降り積む初雪に
窓の景色の真白に変わる
大塚 成子
五十嵐田鶴
大塚 富江
平井 朝子

初春のダンスパーティー華やかに

踊らにや損と手を取り踊る
男の孫の受継ぐ晴着の凛々しさに
七五三詣の晴れやかに過ぐ
人々の思ひ背負ひてランナーは
吹雪く京都に襷を繋ぐ
木村 寛子
福富 廣枝
荒巻ミサ子

【俳句 投稿】

空晴れて鹿の声聞く初日の出
耳朶に迫る羽風や秋の声ならむ
冬満月スーパームーンと誘わる
次のバス来るはけいなし月見草
裸木となりて風格大けやき
境内に山と積まるる冬菜かな
寺本 紀子
島津余史衣
柴田 一世
斎藤智寿子
天野ユミ海
立花 克明

【短歌 投稿】

ストもありロックアウトも有りし地も
今は炭坑無き過疎は深まる
あの世では使えぬ銭と知り乍ら
節約続け残すよろこび
山里は風の音のみ時折りに
独活山強実

娘夫婦在りて正月を共に寛げし
こと嬉しさいと有りがたき哉
村岡 清香

●3月号に掲載する俳句・短歌・川柳を募集します
2月16日☎までに役場総務課に連絡してください。

※1人一句まで。俳句・短歌・川柳の区分を書いてください。

☎ 役場総務課広報・秘書係 (☎82-1231)

試験・募集

添田町大型共同作業所内の加工室利用者を公募します

町では、地元産の農産物などを利用した特産品の開発などを応援するため、昨年度大型共同作業所内に加工室を設備しました。その第二加工室の利用者を公募します。

▼応募書類提出期限 2月21日
※応募資格や応募方法などの詳細は、町ホームページで確認または役場地域産業推進課農業振興係まで問い合わせください。

▼関 17時（必着）
※応募資格や応募方法などの詳細は、町ホームページで確認または役場地域産業推進課農業振興係（☎82-1237）

子供たちにおいしい給食を、給食調理員を募集します

町立小学校に勤務する学校給食調理員を募集します。意欲があり、健康な人は、ぜひ連絡ください。

▼勤務日 月に5〜10日程度（学校から要請のある日）
▼勤務時間 9時〜16時30分



▼賃金 月額6000円
▼募集人数 1〜2人程度
※詳しくは問い合わせください。

文化財業務 臨時的任用職員募集

▼業務内容 添田町埋蔵文化財センター（美術館含む）の管理、国史跡英彦山の指定範囲拡大に向けた補助業務、遺跡出土遺物の整理など



▼応募資格 平成30年4月2日時点で、添田町に住所を有する満18〜64歳の人、パソコン操作（ワード・エクセルなど）ができる人、普通自動車免許を有する人

▼募集人数 1人
▼勤務時間 9時〜17時15分（土日月祝日は休み）
▼賃金 月額6000円（資格・経験に応じ最大月額15万円）
▼任期 4月3日〜9月28日（更新の場合あり）
▼申込期限 3月9日（金）17時
▼面接予定日 3月16日（金）
▼必要書類 履歴書、履歴書記

業務内容 給食業務全般

▼給与 時給850円
※詳しくは問い合わせください。
▼特別養護老人ホームそえだ（☎82-4112）

中山間地域を支える中山間応援サポーター募集

県では、中山間（ちゅうさんかん）園などがある山あいの地域）応援サポーターとして地域のひととともに活動するボランティアを募集しています。

▼活動内容 中山間地域での草刈りや地域のお祭りのサポートなど（通年実施）
▼応募方法 パソコンやスマー

添田町の未来を考える大切な選挙です

添田町長選挙と議会議員選挙を同時に実施します

添田町選挙管理委員会が、昨年12月22日に開催され、任期満了に伴う添田町長選挙（任期満了日：平成30年8月21日）と添田町議会議員一般選挙（任期満了日：平成30年7月21日）を同時に行うことに決定しましたので、お知らせします。

●添田町長選挙及び添田町議会議員一般選挙

選挙期日 7月8日（日）
告示日 7月3日（日）

※投票時間や期日前投票期間などの詳細は、広報6月号に掲載予定です。

選挙の豆知識

投票できるのは、次の要件を満たした人です。
○投票日当日に満18歳以上（平成12年7月9日以前に出生）の人
○平成30年4月2日以前から添田町に住所を有する人（平成30年4月2日までに転入の届出をした人を含む）で、選挙人名簿登録基準日（平成30年7月2日）現在、引き続き添田町に住居登録している人
※投票所入場券が送付されても、投票する前に町外へ転出した人は投票できません。

▼添田町選挙管理委員会事務局（☎82-1231／役場総務課総務係内）



忘れず申請をお願いします

4月から小学生のお子さんは「ひとり親家庭等医療証」の手続きを

4月から小学校に入学する、ひとり親家庭等医療制度に該当するお子さんは、現在お使いの子ども医療証からの、切り替えの手続きが必要です。



【必要な手続き】 対象者となる小学校新1年生（生活保護世帯を除く）に認定申請書を送付しますので、忘れずに手続きをしてください。申請受け付け後、3月末に医療証を送付します。

●受付期限 3月9日（金）
●受付場所 役場保健福祉環境課子育て支援係
●必要なもの 印鑑、お子さんの保険証、申請書
▼役場保健福祉環境課子育て支援係（☎82-1232）

献血にご協力を

やさしさが笑顔をつくる



▼とき 3月8日（日）10時〜12時30分
▼ところ 添田町役場 13時30分〜16時
▼対象者 体重が50キログラム以上の人で、男性17歳〜69歳 女性18歳〜69歳

※65歳以上の方は、60〜64歳に献血経験がある人。

▼役場保健福祉環境課健康対策係（☎88-8111）

業務内容 給食業務全般

▼給与 時給850円
※詳しくは問い合わせください。
▼特別養護老人ホームそえだ（☎82-4112）

中山間地域を支える中山間応援サポーター募集

県では、中山間（ちゅうさんかん）園などがある山あいの地域）応援サポーターとして地域のひととともに活動するボランティアを募集しています。

▼活動内容 中山間地域での草刈りや地域のお祭りのサポートなど（通年実施）
▼応募方法 パソコンやスマー

保健・福祉

トフオンなどから事前登録
福岡県農山漁村振興課
（☎092-643-3503）

女性特有がん無料クーポン有効期限は2月28日（水）まで

女性支援とがん検診の推進のため、平成29年5月に対象者に子宮頸がん（けいがん）と乳がん検診の無料クーポン券を発



送しています。早めの受診をお願いします。

▼有効期限 平成30年2月28日
▼対象者 ▼子宮頸がん検診Ⅱ
平成8年4月2日〜平成9年4月1日生まれ ▼乳がん検診Ⅱ昭和51年4月2日〜昭和52年4月1日生まれ
▼役場保健福祉環境課健康対策係（☎88-8111）

糖尿病および合併症予防のための講演会

▼とき 2月25日（日）12時〜16時
▼ところ 桂川町住民センター
▼内容 身長・体重・血圧・血糖測定、健康相談、教育講演

「糖尿病の合併症を知って、予防してエンジョイライフ」／萩原中央病院副院長 森田恵美子先生 など

▼桂川町総合福祉センター（☎0948-65-0001）

保健師・管理栄養士が個別健康相談に応じます

▼とき 2月23日（金）10時30分〜11時30分
▼ところ クアハウスハピネス
▼内容 健診結果や食生活、栄養改善に関することなど、気軽に相談してください
▼役場保健福祉環境課健康対策係（☎88-8111）

九州北部豪雨義援金・支援金・寄附金

温かいご支援 ありがとうございました

寄附者の皆さまへ感謝申し上げます

平成29年7月5日の豪雨災害に際しまして、全国の皆さまから義援金・支援金・寄附金など心温まるご支援、ご厚情を賜り、心から感謝申し上げます。貴重なご厚志は、趣旨にそって適切かつ有効に活用させていただきます。

本来であれば、皆さまお一人おひとりにお礼を申し上げるべきところでございますが、広報そえだ並びに添田町ホームページ上でのお礼をもって代えさせていただきます。

ご協力いただきました皆さまに心から厚くお礼申し上げます。今後とも町の復旧・復興に向けて、引き続きご支援をお願い申し上げます。

●義援金・支援金の受け付けは終了しました
添田町災害義援金・支援金およびふるさと納税による災害寄附金の受け付けは、平成29年12月29日をもって終了しました。

●添田町災害義援金 29,290,686円（318件）
添田町内で被害を受けられた方に対し、生活支援や再建のために、被害の程度に応じて、被災者へ直接お届けしています。

●添田町災害支援金 44,332,450円（175件）
支援金（寄付金）は、河川や道路、橋りよりの改修など、添田町が行う災害復旧・復興事業の財源として活用させていただきます。

●ふるさと寄附金 12,897,703円（1,006件）
返礼品のない、ふるさと納税による寄附金で、支援金と同じように添田町が行う災害復旧・復興事業の財源として活用させていただきます。

なお、ご支援いただいた義援金・支援金・寄附金の使途については、ホームページに随時掲載いたします。皆さまのご支援を励みに、1日も早い復旧・復興に向けて、取り組んでまいりますので、今後とも変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

▼役場総務課総務係（☎82-1231）
保健福祉環境課福祉係・障がい者係（☎82-1232）

人の動き

12月末日現在（ ）は前月比

- 人口 10,185人（－14人） ●出生 4人
- 男性 4,795人（－9人） ●死亡 17人
- 女性 5,390人（－5人） ●転入 16人
- 世帯数 4,795世帯（－3世帯） ●転出 17人

相談

- 心配ごと相談（そえだジョイ／10時～15時）

2月20日☎、3月6日☎

- 補聴器相談（役場ロビー）

2月9日☎（15時～）、14日☎（13時～）

- 無料法律相談（オークホール／13時～16時）

2月16日☎

※2か月に1回の巡回無料相談会です。前日午前中までに役場保健福祉環境課で予約してください。

☎ 役場保健福祉環境課（☎ 82-1232）

- 無料法律相談会

（福岡法務局田川支局／13時～16時）

2月13日☎、3月13日☎

※利用条件あり。詳しくは問い合わせください。

☎ 法テラス福岡（☎ 050-3383-5502）

- こころの健康相談（田川保健福祉事務所／予約制）

2月13日☎（10時～）、22日☎（14時～）

☎ 田川保健福祉事務所健康増進課（☎ 42-9307）

- 女性の健康相談・不妊相談（福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所／要予約）

2月7日☎、3月7日☎（13時30分～16時30分）

☎ 福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所健康増進課健康増進係（☎ 0948-29-0277）

納期限のお知らせ

- 2月28日☎が納期限です

▷国民健康保険税（8期）

▷後期高齢者医療保険料（8期）

☎ 役場住民課税務・滞納対策係（☎ 82-1234）

事件事故発生状況

12月の事件発生状況（ ）内は昨年同月比		
種 類	発生件数	今年の累計
自動車盗	0（±0）	1（+1）
性犯罪	0（±0）	0（±0）
車上ねらい	0（±0）	1（±0）
空き巣・忍び込みなど	1（+1）	3（－5）
12月の事故発生状況（ ）内は昨年同月比		
種 類	発生件数	今年の累計
事故発生（物件+人身）	12（－2）	166（－5）
死亡者	0（±0）	0（±0）
負傷者	0（－8）	36（－30）

第30回 町民バドミントン大会

- とき 3月11日☎ 9時（受付8時45分～）
- ところ 町体育館／参加無料
- コース 上級者・中級者・初級者
- 競技方法 性別なしのダブルス
- 参加資格 町内在住・在職者や町内体育施設で活動をしている人
- 申込期限 3月5日☎（社会教育課に申込用紙を提出してください）

☎ 教育委員会社会教育課生涯教育係（☎ 82-2559）



- ▼とき 3月11日☎ 9時（受付8時45分～）
 - ▼ところ 町体育館／参加無料
 - ▼コース 上級者・中級者・初級者
 - ▼競技方法 性別なしのダブルス
 - ▼参加資格 町内在住・在職者や町内体育施設で活動をしている人
 - ▼申込期限 3月5日☎（社会教育課に申込用紙を提出してください）
- ☎ 教育委員会社会教育課生涯教育係（☎ 82-2559）

- ▼貸した農地は期限が来れば、離作料を支払うことなく必ず返ってきます
- ▼受け手のメリット
- ▽経営規模の拡大が図れます
- ▽貸借期間中は安心して耕作できます。また、再設定で継続して借りられます
- ▼受付期間 2月1日☎～28日☎
- ☎ 役場地域産業推進課農政係（☎ 82-1237）

- ▼変更点 ①求職者に明示しなければならぬ労働条件の事項が追加されました ②面接などにより、労働条件を変更した場合、企業は速やかに求職者に変更した労働条件を明示することが必要となりました
- ※詳しくは厚生労働省のホームページ

- 添田町社会福祉協議会へ
- ▼香典返し ▼松義榮貞（英彦山）▼（故）祓川ミヤ子（上落合二）▼神崎聡（添田東）▼高瀬美香（峰地）▼三苫敏男（町四）▼大塚千里葉（伊原）▼（故）古賀四男美（庄東）
- ▼一般寄付 ▼柳田博（榊田）
- 特別養護老人ホームそえだへ
- ▼慰問 ▼赤間徳夫（岩瀬）▼伊藤麗子（添田中）▼高橋浩月（町四）▼坂本泰子（峰地）（平成30年1月14日現在）

- ▼とき 3月11日☎ 13時30分～16時
- ▼ところ クローバープラザ（春日市）
- ☎ 福岡県男女共同参画センター（☎ 092-584-3739）

- ▼とき 2月22日☎、23日☎ 9時45分～16時
- ▼行先 飯塚セントラル劇場
- ☎ 添田町社会福祉協議会（☎ 82-2600）

- ▼とき 3月18日☎ 13時30分～16時30分
- ▼ところ 直方市中央公民館
- ▼テーマ 「生きものにぎわう里山づくり」人と地域を元気に

- ▼定員 50人（先着順）／参加無料
- ▼申込期限 3月9日☎
- ▼申込方法 住所、氏名、連絡先、所属団体、展示パネル・チラシの有無を明記し、FAXまたは電話で申し込んでください
- ☎ 福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所（☎ 0948-21-4975）

- ▼とき 2月23日☎、24日☎
- ▼ところ 九州職業能力開発大 学校（北九州市）
- ▼内容 記念講演「TOTOウオシュレットの歴史と機能の紹介」、研究発表会、ロボット競技会、機械加工技術コンテスト、製作品展示
- ☎ 九州職業能力開発大 学校（☎ 093-963-8353）

町営住宅入居者抽選会

▼とき 3月12日☎

地元物産販売や、参加者対象の抽選会あり

2018油木ダム桜ウォーキング大会

参加者募集 雨天決行

とき▶4月8日☎ 開会式 9時30時～

集合▶津野小学校グラウンド

受付▶8時30分～9時30分

定員▶先着500人

コース▶6キロ、15キロ

参加費▶大人 2,000円、中学生以下1,000円

※記念品・昼食代・保険代を含む。

※参加費は返金できませんのでご了承ください。また、別途振込料金がかかります。

※小学生以下は保護者が同伴してください。

申込期限▶2月28日☎必着

大会リーフレットに添付している郵便振替払込取扱票に必要事項を記入し、参加費を添えて郵便局で申し込んでください。5人以上の団体は、代表者名を記入し、人数分の参加費を添えて申し込み、他参加者の氏名・住所などは郵送かFAXで役場まちづくり課まで連絡ください。

■ 地元物産を販売します

ウォーキング大会に参加しない人にも楽しんでもらえるよう、今年も地元物産販売などを行います。

●問い合わせ・連絡先

〒824-0691 福岡県田川郡添田町大字添田 2151 添田町役場まちづくり課施策推進係（☎ 82-1236 / FAX 82-2869）



◇発行／添田町 ◇編集／総務課
〒824-0691 福岡県田川郡添田町大字添田 21-51 番地
☎0947-82-1231 FAX0947-82-2869
ホームページ <http://www.town.soeda.fukuoka.jp>

◇印刷／丸五印刷株式会社
※広報そえだは再生紙を使用しています

美しい自然と歴史あふれる町「添田の魅力」再発見

第22回 添田町フォトコンテスト 入賞作品決定

22TH SOEDA TOWN PHOTO CONTEST PRIZE WORKS

町内の自然やイベントをテーマにした添田町フォトコンテストの審査が行われました。22回目となった今回は、風景部門で特選1点・秀作5点・入選9点、イベント部門で特選1点・秀作5点・入選5点、またスマホ部門で入選1点の入賞作品が決定しましたので、ご紹介します。

- 風景部門【秀作／5点】▶熊崎芳彦（川崎町）▶黒水律子（北九州市）▶吉山彰彦（田川市）▶牟田元弘（北九州市）▶千田一弘（添田町）【入選／9点】▶鎌田貞美（北九州市）▶白石淳二（田川市）▶上原重春（糸田町）▶山本一義（添田町）▶前谷慎治（福智町）▶野北泰司（添田町）▶三浦誠（北九州市）▶近藤博美（北九州市）▶田代直彦（直方市）
- イベント部門【秀作／5点】▶葉石美和子（北九州市）▶松尾厚志（北九州市）▶田中栄子（北九州市）▶石村國男（宗像市）▶高瀬重信（大野城市）【入選／5点】▶渡邊毅（北九州市）▶生田守（北九州市）▶木村正憲（築上町）▶白川勉（みやこ町）▶木下武（川崎町）
- スマホ部門【入選／1点】▶西丸正美（香春町）／順不同・敬称略
- ※入賞作品は、英彦山スロープカー花駅内のオープンギャラリーで展示しています。町ホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。
- ☎ 役場まちづくり課観光係（☎82-1236）



イベント部門特選
ひと休み 撮影地・貴船神社（野田神幸祭）
入江千鶴子さん（北九州市）



風景部門特選
夜の英彦山 撮影地・英彦山中岳（南岳より）
八丁 学さん（行橋市）

町長室 広報そえだ

2月（如月）になりました。始まったばかりの今年ですが、こんな話を聞きました。▼「あとの祭り」という言葉です。これは京都八坂神社の祇園祭に関わる言葉です。祇園祭は、7月1日から約一か月間行われますが、山鉾と呼ばれる豪華な山車がたくさん繰り出される17日の山鉾巡幸を「前の祭り」と言い、山車を返す還車の行事を「後の祭り」と言うそうです。このことから、「あとの祭り」という格言ができたと言われています。後の祭りは、山鉾も出ず、見物に行ってもあまり、賑やかさがなく、手遅れの意味になったということです。町政運営においても、あとの祭りにならないように十分に考え、対応しなければなりません。▼昨年、JR日田彦山線の復旧のことを書いていますが、この鉄道は添田町のまちづくりには、非常に大事な路線であり、守っていかなければなりません。そのため、早期復旧が必要であり、我々がここであきらめてはならないと思っています。▼当事者であるJR九州の青柳社長は、いまだ復旧の方針を示していません。鉄道は公共的役割があります。民間企業になったからといって、効率性優先、住民のこと、事業の公共性をどう考えるのが、今、問われているところだと思います。▼JR日田彦山線の復旧については、小川洋知事としっかり連携して対応しています。知事は、①JR日田彦山線の復旧は、交通事業という公益性を有していることから、運行の当事者であるJR九州が第一義的に復旧を行うものであり、まずは、自社努力による復旧方針を示すべきである。②JR九州に対して、早期復旧にむけた具体的方針を早急に示し、公共機関としての使命感を持って、主体的に復旧に取り組むようにと、強く働きかけています。▼さらに具体的に、JR九州の負担する額が70億円かかるのか精査する必要があると思います。JR九州は彦山川に架かるふたつの鉄橋も、すべて新規に架け替えるとし、数十億円を見積もっているようですが、しっかりした補修で持たないのか、素人目ながら十分持つのではと思っています。間近に見ている住民の皆さんも補修で十分、対応できると考えているのではないのでしょうか。この点の技術的精査もぜひ、行ってもらいたいと思います。▼これらのことを行えば、軽々には言えませんが、JR九州の負担額は少なくなります。そうなくても、JR九州では負担は難しいのかです。知事や我々、住民が認知している、JR九州の交通事業という公益性から半分以上の税金を投入して復旧となります。▼選択を誤り、あの時こうしておけばという「あとの祭り」にならないよう、願うばかりです。私自身も皆さんと共にしっかり考え、対応していきたいと思っています。町民の皆さんのご支援よろしくお願い致します。